

Rotary Club of TAKADA Report

国際ロータリー第2560地区目標
スローガン

ロータリーで善の循環を

高田ロータリークラブ会長方針

善いことをみんなと楽しく



2025-2026年度

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ

第2560地区ガバナー 室賀信宏

高田ロータリークラブ会長 霜村浩

幹事 原野聖子

広報・会報・雑誌委員会：

齋藤尚明 小池猛紀 川上裕一 阿曾 晋
(熊田僚己・杉田貴子)

第7回例会 8月29日(金)

No.7

会長挨拶

● 霜村 浩



こんにちは。

8月8日、22日の例会を欠席してしまいました。最初は夏風邪、次はコロナ濃厚接触ということで、両方とも皆さんへ感染の可能性があるだったので、大事をとってのことでした。大変ご迷惑をお掛けしました。

さて、国際ロータリーでは、前年度、就任直前のデ・カマルゴ会長エレクトが辞任するということがありましたが、今年度も、先日、韓国のユン・サング会長エレクトが健康上の理由で辞任したとの報がありました。大変残念なことではありますが、一日も早いご回復をお祈りいたします。

ということで、今日は健康に関する植物について少しお話を。

花言葉で健康にかかわる植物を調べてみると、皆さんご存知の「アロエ」が引っかかりました。花言葉は「健康」、「万能」、「信頼」等です。よく見かけるのはキダチアロエという名で、暖かい所では冬になると花が咲くことがあります。「医者いらず」と別名が付くほど万能の薬用植物として有名ですが、私も幼いころ少し具合悪くすると、あの苦い葉肉を食べさせられたり、いたずらして火傷をすると患部に当てられたりした覚えがあります。皆さんもその様な経験はないでしょうか？

そのアロエですが、風水的にも効果が高いとされています。葉にあるトゲには邪気を払う効果があるため、悪い気を跳ね返し、良い運気を引き寄せてくれるとされています。アロエを飾ると健康と幸運が舞い込んでくるかもしれません。

本日の卓話は、衛星クラブ熊田さんによる会員卓話です。お仕事のお話はもちろんあると思いますが、彼の人生について聞くことを楽しみにしています。ご清聴よろしく願いいたします。



出席報告

出席率 97.67%

臨時総会

8月29日(金)規定となる総会の成立を確認後、霜村会長が議長となり臨時総会を開催しました。「2024-2025年度決算報告」について満場拍手にて承認されました。

ニコニコ BOX 紹介

遠藤 巖君: 8月24日の日曜日に、当クラブゴルフ同好会の素晴らしい仲間と楽しいプレーをし、そして、優勝までさせていただきました。
高橋孫左衛門君: 今年、5月にはNST『潟ちゅうぶ』、先週の金曜日にはTeNY『新潟炊きたてバラエテ

ィーおにぎりハウス』の番組で当店が紹介されました。

幹事報告

配付物: 週報No.6、2024-25年度決算報告書
回覧物: 新会員推薦者カード

会員卓話: 本町発! つなごう未来(あす)の上越を

春陽館書店 熊田僚己君



合名会社春陽館書店代表社員の熊田僚己(くまたともみ)と申します。1977年12月30日生まれ、本年巳年の年男です。弊社は1915年(大正4年)創業。本町商店街に店を構えて100年以上、まちと共に歩んできました。元々、布団と古書を扱う店でしたが、曾祖父の代に新刊書店へ業務転換し今に至ります。地域の皆さまに支えられ親子5代に渡り、バトンを繋げられますことに感謝申し上げます。修業時代(新日本プロレスの営業マン)を経て2003年6月に高田に戻ってきました。ご縁があり高田ローターアクトクラブに同年7月に入会し2008年6月の卒業までお世話になりました。ローターアクト活動を通じ様々な学び出会い経験をさせていただきました。自分にとって糧となるかけがえのない時間でした。ロータリーとのご縁も2020年1月の衛星クラブの設立に伴い再び結ばれました。本年は幹事を拝命しております、活動を楽しみながらクラブの活性化に努めてまいります。

店を構えます本町商店街ですが、様々な課題が山積みです。

「連携」、「強みづくり」、「お得意様づくり」、「新陳代謝」の4つの方向性を柱に地域とのつながりを深め進んでまいります。次世代を担う30代の若い店主の発想と力を借りながら現状を乗り越えていきたいと思っております。

さて私が身を置く書店業界も人口減・デジタル移行に伴うリアル書店・リアル店舗への集客減など課題は山積みです。少子化→児童・学生ら読書人口の減少→読書離れ→その結果書店減少が進み、全国で書店空白の自治体は27.9%となっております。地域の書店こそ日本の文化と精神拠点であったのに、次代を担う子どもがその存在すら知らず、読書を通じて人生をより深く生きる力を付けられずに成長していくことは、国力の低下に繋がると言っても過言ではありません。

国としては昨年3月に齋藤前経済産業大臣直轄の「書店振興プロジェクトチーム」を設置しました。書店は文化の発信拠点であり、多様な考え方を維持し国力にも影響を与えうる極めて重大な社会の資産であると銘打ち施策を講じているところです。本の流通により、様々な読み手が新たな知識を得て文化が創造され、広がり、発展する効果が期待されます。弊社といたしましては、「まちの書店」として地域文化を支えるインフラとしての誇りを持ち、本を通じて人との繋がりや思いを残せる場として工夫を続け、本町商店街に書店の灯をともしつづけるため日々、奮闘してまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

